PETER DAVID BETER — 音声書簡 第3号

1975年8月21日

テーマ1 JFK暗殺事件をめぐるベーターの主張

1 1963年11月22日、ダラス。車列で移動中のケネディが銃撃される。



2 オズワルドが逮捕される。ベーターは捜査が早々に一人に絞られたことを疑問視する。



3 ルビーがテレビカメラの前でオズワルドを殺害。ベーターはさらに疑問を投げかける。



4 ベーターはウォーレン委員会の単発弾説を退ける。



5 ケネディの運命をキューバとベトナムへの関与縮小計画に結びつける。



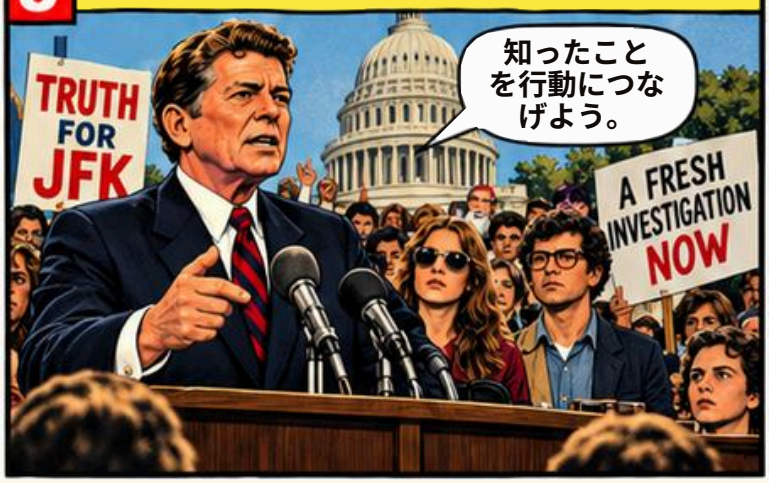
6 ベーターは車内に隠された装置が致命傷を負わせたと主張する。



7 コナリーは狙われた証人だったとし、行方不明の証拠に疑問を呈する。



8 ベーターは再捜査と市民の行動を訴える。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第3号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER - 音声書簡 第3号

1975年8月21日

テーマ2 ロックフェラー家の経済力

1 ベーターは、受け継いだ巨大な事業体を取り仕切る野心的な四兄弟を描く。



2 ジョン・D・三世はアジアとアフリカに影響力を持ち、慈善家の顔を持つと描く。



3 ネルソンは南北アメリカの政界に通じていると描く。



4 ベーターはローレンスを航空、軍需産業、株式市場と結びつける。



5 デービッドとチェース・マンハッタンを金融の中心に位置づける。



6 ベーターは融資、株式保有、役員を兼ねる取締役会による支配を唱える。



7 石油利権とフォート・ノックスをめぐる疑惑をこの人脈と結びつける。



8 ホッファの失踪を、チームスターズ労組と流通をめぐる争いに帰する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第3号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第3号

1975年8月21日

テーマ3 インドと変わりゆくベーターの戦争予測

1 ベーターは米国を中心とする核戦争を以前に予測したことを振り返る。



2 政治と金をめぐる論争で、ネルソンの大統領就任計画が遅れたと語る。



3 ベーターはインディラ・ガンディーを弱体化させる動きにCIAの支援があったと主張する。



4 ガンディーの反撃で、その疑惑の作戦が妨げられたと語る。



5 ベーターは予測を修正し、中国と日本が1977年3月にインドを攻撃すると述べる。



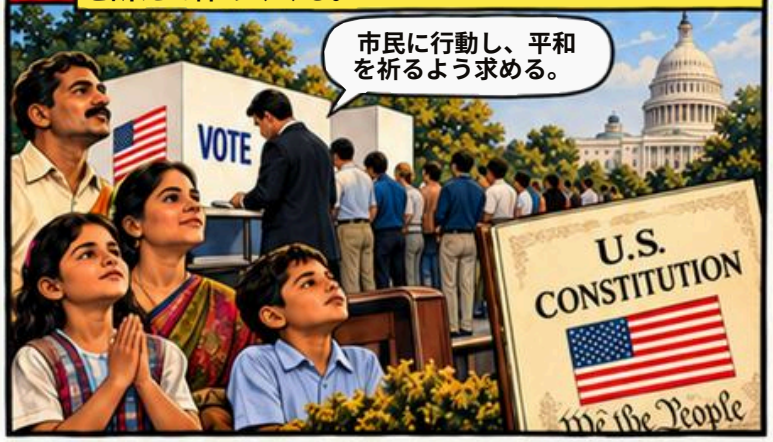
6 彼の想定ではロシアがインドを助け、米国は双方に物資を供給する。



7 インドの情勢が再び逆転すれば、以前の戦争シナリオに戻りうると警告する。



8 ベーターは立憲政治と市民の行動を訴えて締めくくる。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第3号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。